

# 第10回市街地総合再生基本計画推進協議会 資料

令和4年3月14日（月）18時30分より  
中央公民館 1階 講堂

－次第－

1. 開会
2. 会長挨拶
3. 前回会議録の確認
4. 【協議事項】
  - ① 前回協議会で出された意見等について
  - ② 設計案（B-3、B-4、B-5案）の特徴について
  - ③ 議会との協議内容とワークショップの進め方
5. 今後のスケジュールについて
6. 閉会

## ・前回協議会で出された意見等について

### グループごとの要点・全体へのご意見・アドバイザーのコメント

#### 配置について

##### Aグループ

C案は、まとまっていて住民にも使いやすいなど良い点があるが、防災の視点から庁舎前の駐車スペース確保が必要であり、**妥協してB案。**

2棟間の行き来が課題。建物で解決するだけでなく、**細やかな住民へのサービス**を深めるなど**人による解決**も。

##### Bグループ

駐車場や防災の観点から、**B案**しかない。

**町道に大きな屋根をかけてバスターミナル**にできないか、さらに**屋根の上を2階テラス**にしてはどうか。

**バス協議が重要。**ぜひ早めに協議を。

##### Cグループ

1棟にまとまっている**C案**が望ましい。

B案は広場が建物に囲まれている、2棟の行き来などに課題がある。

→**B'案**として、**ドラッグストア**を庁舎側へ移動し**広場確保図書館の顔が見える**ようにしたい。

#### 運営について

##### Aグループ

・**お店が長く続く**ような、**細かなサービスの取り組み**についての検討を深めたい。

・町内へ**通勤している人が多い**こと、北見や美幌など**周辺の人口が多い**ことを利用して、**消費や移住を促進**する工夫が必要。

##### Bグループ

・**ボルダリング設置と道の駅**を目指すことをぜひ固めて欲しい。

・道の駅を目指す**と決まれば**様々なアイデアが出てくる。

・拠点で滞在を楽しんでもらうだけでなく**人が街に回遊する仕組み**も考えたい。

##### Cグループ

スーパーやアンテナショップでは、**町内のお店が交代に出品して種類を豊富**にすることや、**温かみの感じられる仕組み**を実現したい。

町外からの通勤者が多いこと、周辺に北見や美幌など**周辺に10万人以上の人口**があることを生かして、**消費や移住を呼び込める**ような取り組みを。

#### 全体を通してのご意見

- ・補助申請の取り下げがないように進めて欲しい。
- ・令和3年度の補正で国の予算を確保して射るのであれば、町議会の手続きもあるはず。
- ・今後の発注手続きは。
- ・権利者の調整、予算措置（繰越）などしっかりと進めて欲しい。

#### 松村アドバイザーからのコメント

商業施設がずっと続くのかという不安に対して、建物だけで解決するのは難しいけれども、なんとかして人が関わることでずっと続くお店になって欲しいという思いを皆さんが持っています。

例えば、併設するハイヤーが買った物を運んでくれる、などのアイデアもありました。

また、町内で働いている人が買い物してくれる、さらには移り住んでくれるような取り組みも求められています。

・ 設計案 (B-3・B-4・B-5案) の特徴について

◎おさらい「B案とC案」の検討結果

町道で建物が分断されている。また、両店舗間の移動距離が長く、一度屋外へ出る必要がある。

道路を使ったバスタッチでは、一般車両との交差もあり、ターミナルらしくない。除雪の際の堆雪スペースが無い。

このような乗降所は、利用者からはどのバスに乗れば良いのか分かりづらい。

発車の際でも、バス付近を利用者が歩く可能性もあり、人車の分離がされていなく危険。

ドラッグストアと庁舎の距離は狭くなり災害時の各種活動に支障が出る。また建物が隠れてしまい建物が認識しづらくなる。

国道側の敷地は建物を配置しないためバスターミナルと駐車場のみとなる。

1棟にまとまっていることは良いのだが...

スーパーマーケット 575㎡

積木広場

ドラッグストア

駐車場 33台

バス

バスターミナル

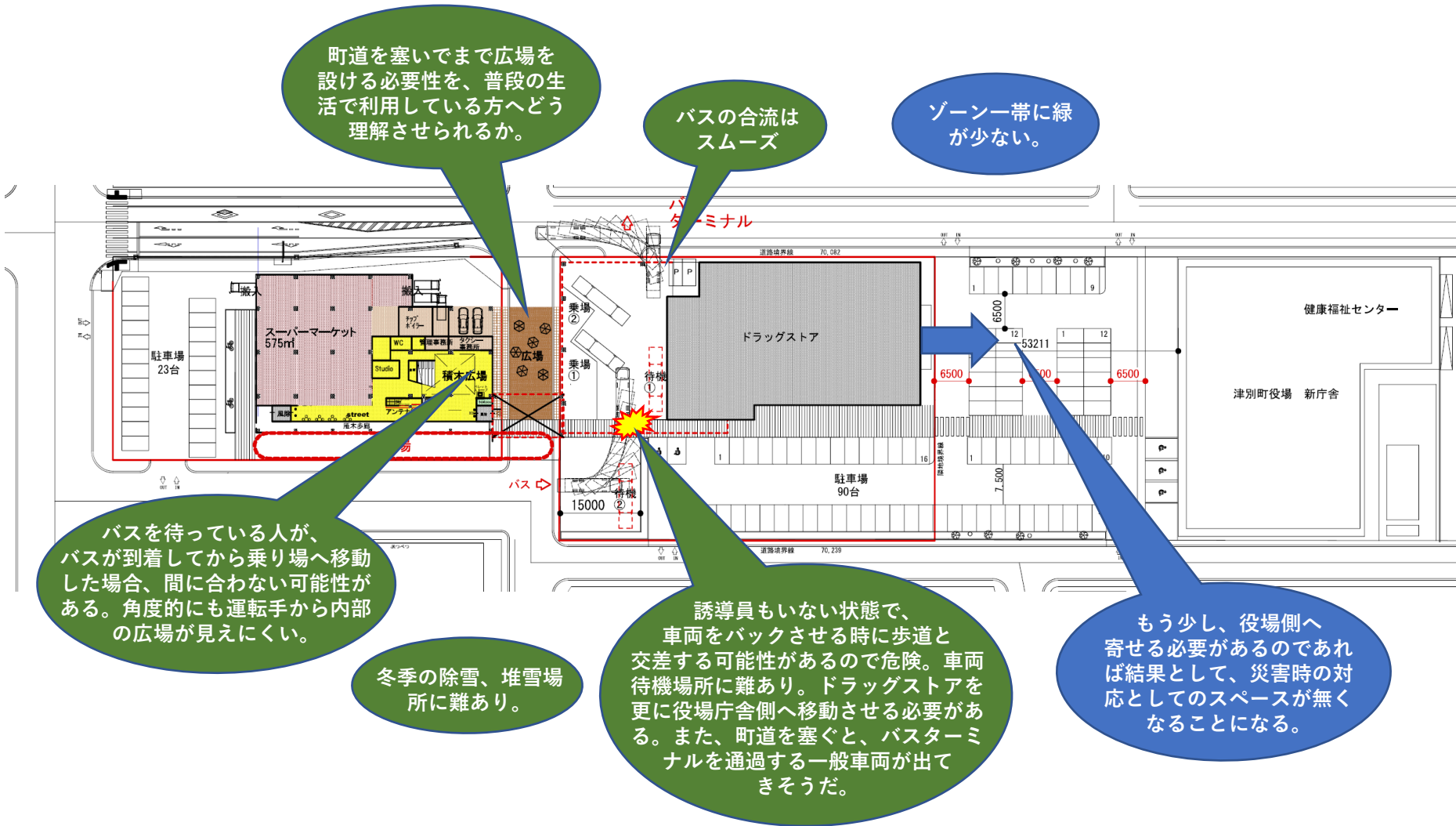
屋上テラス

イベント広場

駐車場 70台

駐車場 88台

# ◎B-3案の特徴

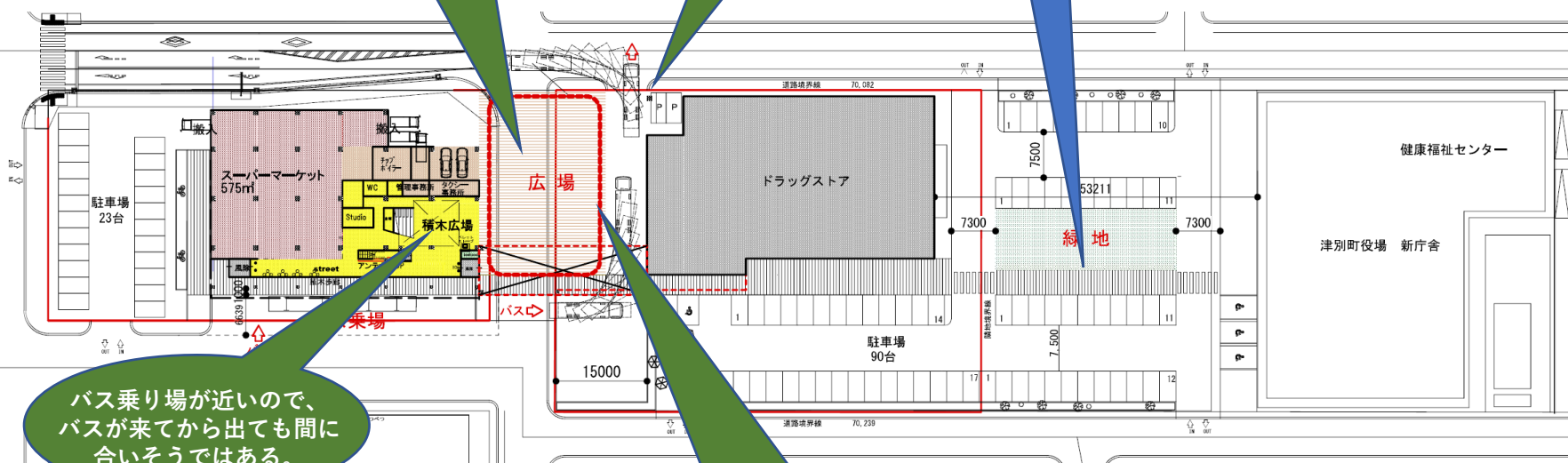


## ◎B-4案の特徴

町道を塞いでまで広場を設ける必要性を、普段の生活で利用している方へどう理解させられるか。

バスの合流はスムーズ

緑地を設けるとしたら、役場庁舎前か。



バス乗り場が近いので、バスが来てから出ても間に合いそうではある。

冬季の除雪、堆雪場所にやや難あり。

車路はバス専用とし、広場との境には、フェンス等を設け、完全に人車の分離をすること。また、町道を塞ぐと、バスターミナルを通過する一般車両が出てきそう。

# ◎B-5案の特徴

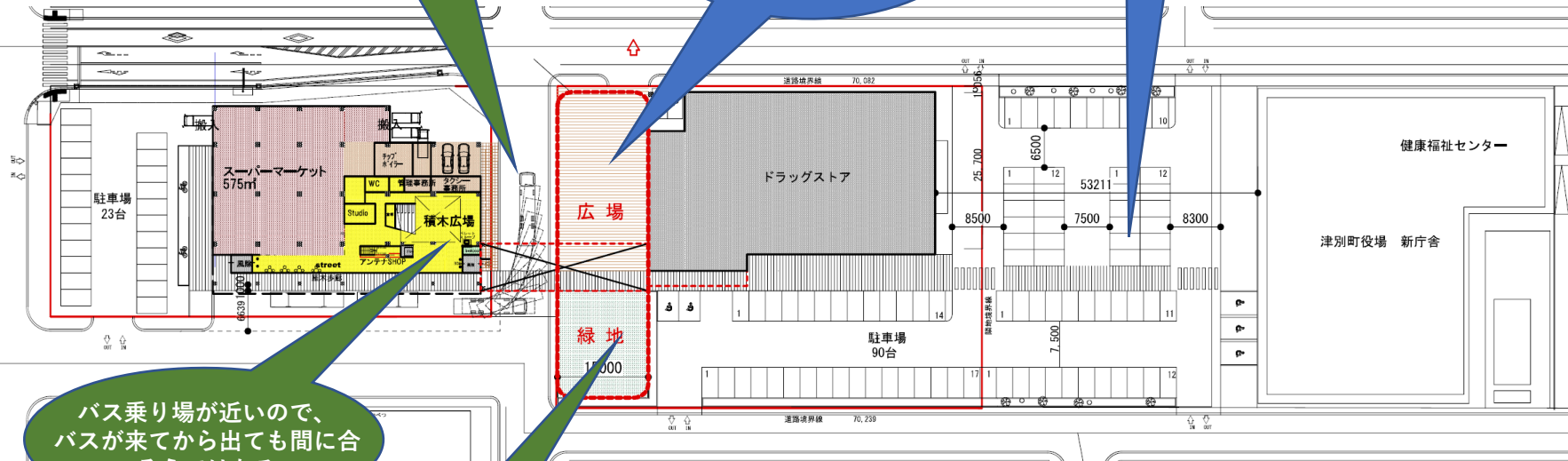
町道が従来通り使え、  
バスの合流も問題ない。

道路一本隔てた広場の  
活用法が鍵となる。ど  
うやって一体感を出し、  
人を誘導するか。

B-4案同様  
緑地を設けるこ  
とも可能。

バス乗り場が近いので、  
バスが来てから出ても間に合  
いそうではある。

冬季の除雪、堆雪場  
所になるか。



## ・今後のスケジュールについて

- ・令和4年3月22日（火）

昼の部13:30より、夜の部18:30より 中央公民館 1階講堂にて  
まちなか再生事業住民懇談会

全10回の協議会でまとめたプランについて提示するとともに、意見を募る場とします。

- ・令和4年3月下旬（25日前後か）

内閣府 地方創生拠点整備交付金事業交付決定

以前にもお話ししたとおり、内閣府より交付金の交付決定がされる予定です。なお、内示に関しては3月10日付けで、申請額の全額が認められた通知があったところです。

- ・令和4年3月末

事業実施に係る協定書をアルファコート㈱と締結

- ・令和4年3月末

基本設計の完了

- ・令和4年4月上旬

（仮）まちなか再生事業住民説明会及び広報による全戸配布

基本設計を基にした説明会を開催するとともに、概要について全戸配布いたします。

- ・令和4年4月以降

市街地総合再生基本計画推進協議会において、実際の使い勝手を考えたプランのブラッシュアップや、運営に関する議論を重ねていきます。

- ・令和4年7月1日頃

本体工事の着工（完了は令和5年3月15日ころ）を予定